

舞台演出家として先端を突っ走った小池博史、
長編劇映画監督第一作

銀河2072 -COSMOS- 上映会

11/25(金)19:00開始／18:30開場

茅野市民館マルチホール

※上映後、監督・小池博史のトークあり

※新型コロナウイルス感染症の影響により変更等が生じる場合が
ございます。

1人の女、4人の男、

静けさと熱狂の混じり合った混沌へ足を踏み入れていく人々。
生と死の迷路の果てに見える景色は・・・

舞踊と演劇の境界線を打破し、舞台芸術の新たな方向性を示し続けた革命家、小池博史の初長編映画

■ストーリー

50年後。日本。

「死体に意識を残す」研究を行っていたウィは、恋人であるヨーコが死に瀕したことにより実験を行い成功させたが、国家権力に追われる身となった。

徹底して情報が隠蔽される中、小隕石落下が噂された。その影響ゆえか、ヨーコとの意思疎通が困難になってきたウィ。そこで昔、共に研究を行っていた男たちを呼び寄せ、その捜索に加担させる。

集まった男たちはヨーコへの思慕を抱く者や実験結果を横取りしようとする者たちであった。

一方のヨーコは死んでいるのに意識があることの違和感をウィに訴えるのだが…

ヨーコを取り巻く男たちの欲望や苦悩、苦渋を表現し、未知なる世界を描きながら、人間とはなにか？生きるとはなにか？を問う。



何だろう、この前衛的であるのに懐かしい感覚は。
タルコフスキーや黒澤の昔の作品を思わせる風合いと、登場人物の大時代な表現が、イメージのコラージュとして私にささくれ立ってくる。
インスタレーションでもあり、舞台表現でもあり、絵画のようでもある。
アンダーグラウンドの匂いに鮮烈な色が浮かんでくる。
これは鑑賞ではなく体験だった。
(俳優、タレント、コラムニスト 松尾貴史)

COSMOS

銀河 2072

監督・脚本：小池博史
撮影：小林基己・白尾一博・澤平桂志
編集：白尾一博
音楽：太田豊／美術：森聖一郎／衣裳：KUUKI
写真：小池博史
製作：株式会社サイ
出演：徳久ウィリアム・伊藤健康・櫻井麻樹・瞳・キモトリエ・松島誠
2022年／日本／68分／モノクロ（パートカラー）／1:2.35シネマスコープ／ステレオ

主催：株式会社サイ
共催：茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造

■料金（全席自由）

〈鑑賞券＋パンフレット〉

一般 1,500円／ユース(22歳以下) 800円

■お申込み・お問い合わせ

小池博史ブリッジプロジェクト／株式会社サイ

Tel:03-3385-2066／FAX: 03-3319-3178

Email: hkbpyoyaku@gmail.com

公式HP: <https://kikh.org/>



茅野市民館

〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号

Tel:0266-82-8222／Fax:0266-82-8223

受付時間:9:00~20:00（火曜日休館）

■茅野市民館をご利用いただくみなさまへ

新型コロナウイルス感染拡大防止へのご理解とご協力をお願い

<http://www.chinoshiminkan.jp/news/2020/0601.html>

